

2019年度 決算説明会

代表取締役社長 志藤 健

YOROZU

株式会社 ヨロズ

東京証券取引所市場第1部 （証券コード：7294）

- I．2019年度業績
- II．2020年度業績予想について
- III．新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み
- IV．最近の状況
- V．株主還元

I．2019年度業績

II．2020年度業績予想について

III．新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

IV．最近の状況

V．株主還元

2019年度連結決算概要 (前期比)

YOROZU

単位：百万円

	2018年度	2019年度	前期比	2019年度 直近予想 ※2	直近予想比
売上高	169,111	157,680	△6.8%	158,000	△0.2%
営業利益	5,290	2,206	△58.3%	2,300	△4.1%
経常利益	5,222	770	△85.2%	800	△3.8%
当期純利益 ※1	402	△12,933	—	△14,000	+7.6%

	2018年度 A	2019年度 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	16円94銭	△544円05銭	△560円99銭	—
連結取り込みレート	110円44銭 / \$	109円03銭 / \$	△1円41銭 / \$	△1.3%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2020年4月15日開示予想値

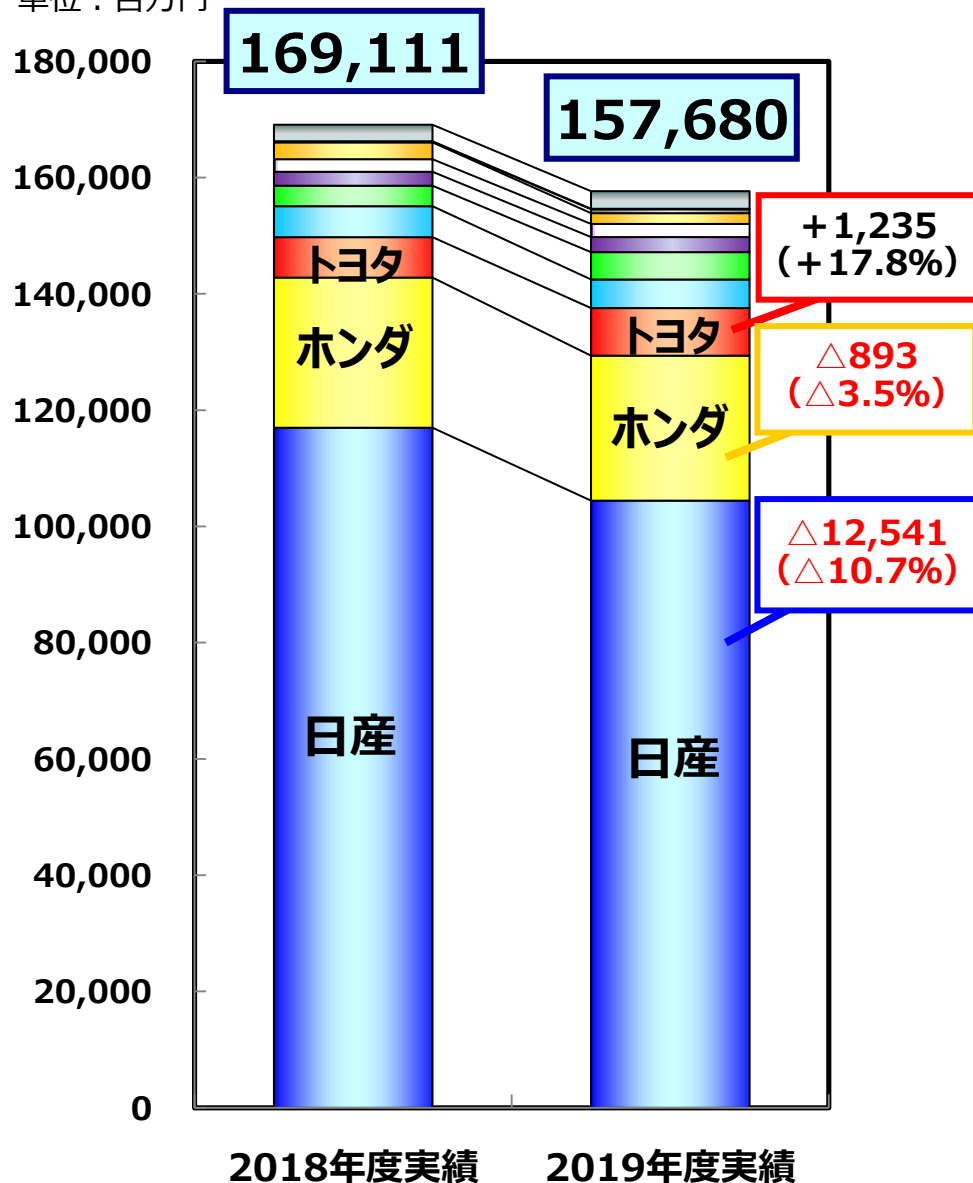
売上高 : 日本・米国・中国・タイの減産影響により減収
 営業利益 : 米国テネシー収益改善も日本・中国・タイでの生産減少により減益
 経常利益 : 新興国通貨の急激な下落に伴う為替差損の計上により減益
 当期純利益 : 5 拠点の有形固定資産減損損失の計上により減益

連結得意先別売上高 (18年実績 対 19年実績)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先		2018年度	(%)	2019年度	(%)
日産 Gr ※		116,994	69.2%	104,453	66.2%
ホンダ Gr		25,828	15.3%	24,935	15.8%
トヨタ Gr		6,950	4.1%	8,185	5.2%
いすゞ		5,322	3.1%	4,917	3.1%
マツダ		3,524	2.1%	4,705	3.0%
VW		2,400	1.4%	2,596	1.6%
クボタ		2,163	1.3%	2,259	1.4%
スズキ		2,892	1.7%	1,851	1.2%
Daimler		76	0.0%	667	0.4%
GM Gr		119	0.1%	86	0.1%
その他		2,843	1.7%	3,026	2.0%
合計		169,111	100.0%	157,680	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

日産グループ向け減少により売上減
トヨタグループ向けは新車効果により増加

連結営業利益の増減要因分析 (18年実績 対 19年実績) YOROZU

単位：百万円

10,000

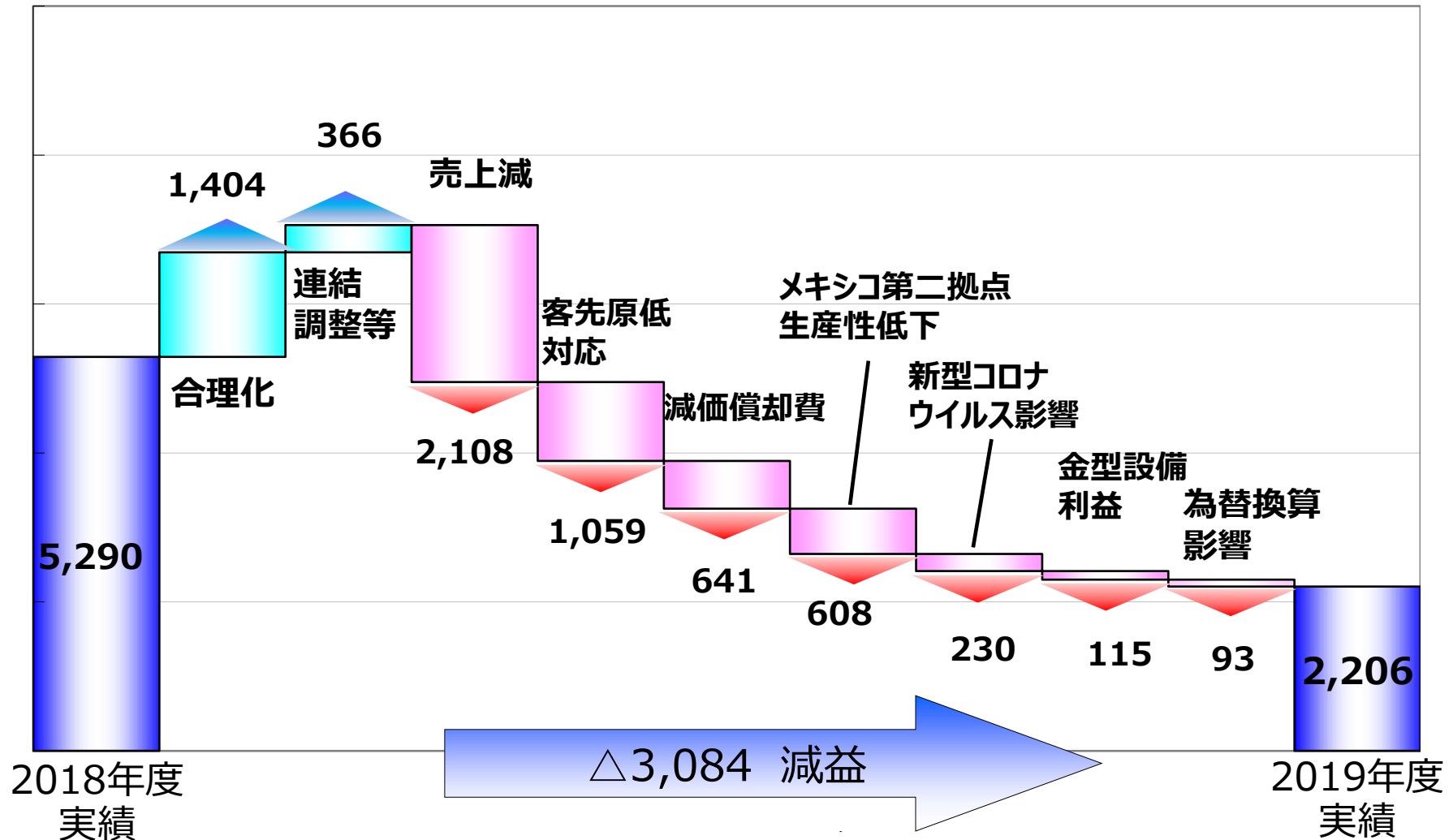
8,000

6,000

4,000

2,000

0



主要得意先の売上高減少に加え償却費用増加続き、減益減収の中でも、緊急収益改善(合理化)は着実に実行

地域別(連結調整前)売上高・営業利益(18年実績 対 19年実績)YOROZU

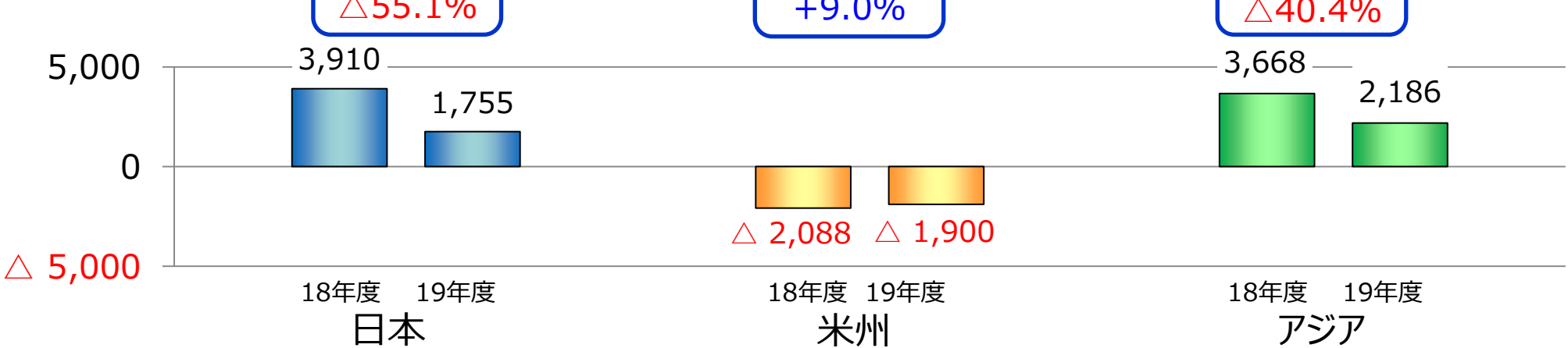
◆売上高

単位：百万円



◆営業利益

単位：百万円



日本：部品・金型売上減少などにより減収
米州：米国の乗用車からライトトラックへの需要シフト及び減産影響により減収
米国テネシー収益改善、アラバマ拠点立上げ一巡で改善も黒字化には至らず。
アジア：中国・タイ生産台数大幅減少などにより減収

連結貸借対照表の概要 2020年3月期

YOROZU

単位：百万円

	2019年3月末 A	2020年3月末 B	増減 B-A
流動資産	67,422	58,386	△9,036
固定資産	100,675	81,313	△19,362
資産合計	168,097	139,700	△28,397
流動負債	40,273	37,550	△2,723
固定負債	35,513	27,598	△7,915
負債合計	75,787	65,149	△10,638
株主資本	81,888	67,677	△14,211
その他の包括利益累計額	△6,235	△8,068	△1,833
非支配株主持分他	16,657	14,941	△1,716
純資産合計	92,310	74,550	△17,760
負債・純資産合計	168,097	139,700	△28,397

現預金	△5,951
受取手形及び売掛金	△2,225
棚卸資産	△1,839
その他の流動資産	+1,258

有形固定資産	△14,704
投資有価証券	△2,929
繰延税金資産	△1,366

支払手形及び買掛金	△1,508
電子記録債務	△1,625
短期借入金	△4,557
1年内返済予定の	
長期借入金	+6,647
未払法人税等	△829

長期借入金	△7,459
リース債務	△705

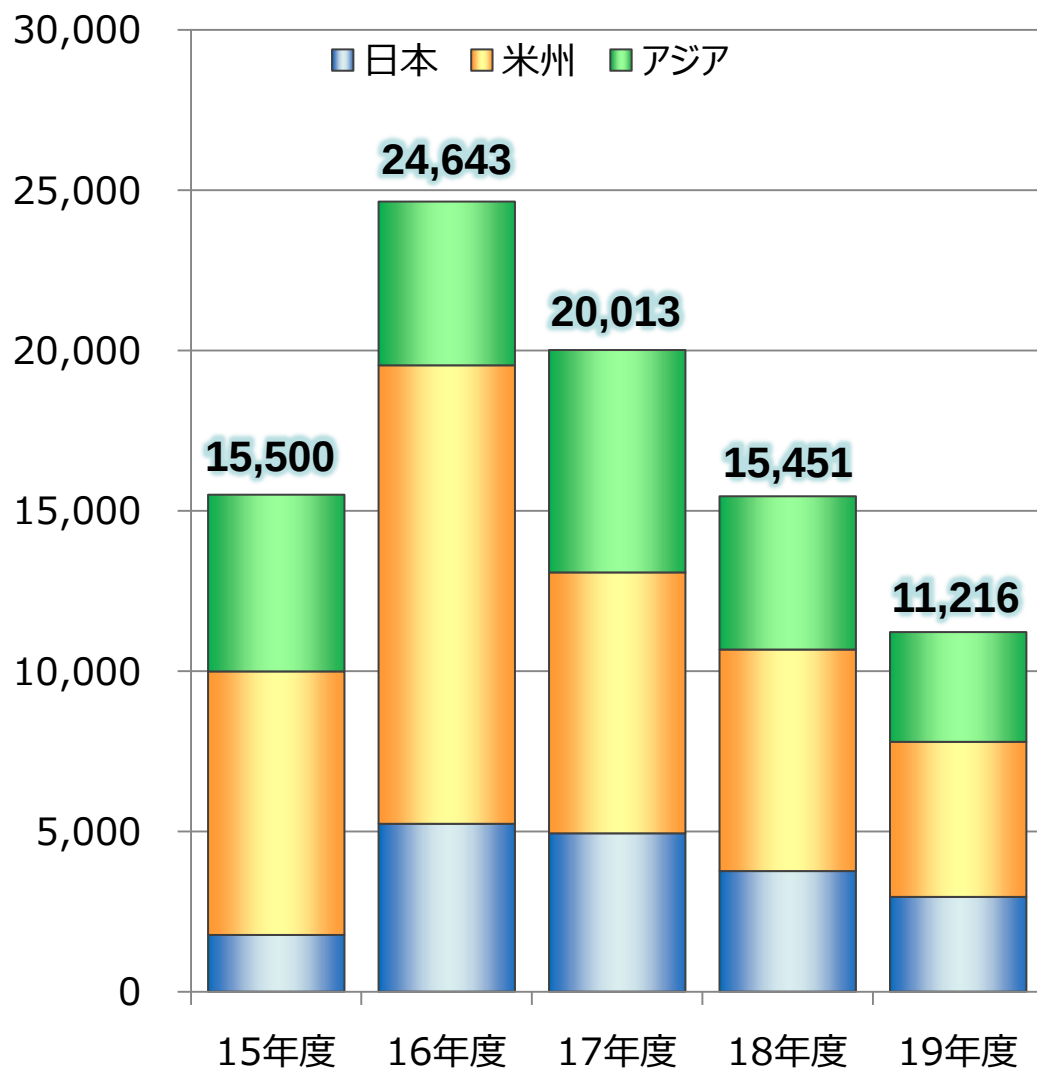
当期純利益（△損失）	△12,933
配当支払	△831

その他有価証券	
評価差額金	△1,720
為替換算調整勘定	+61

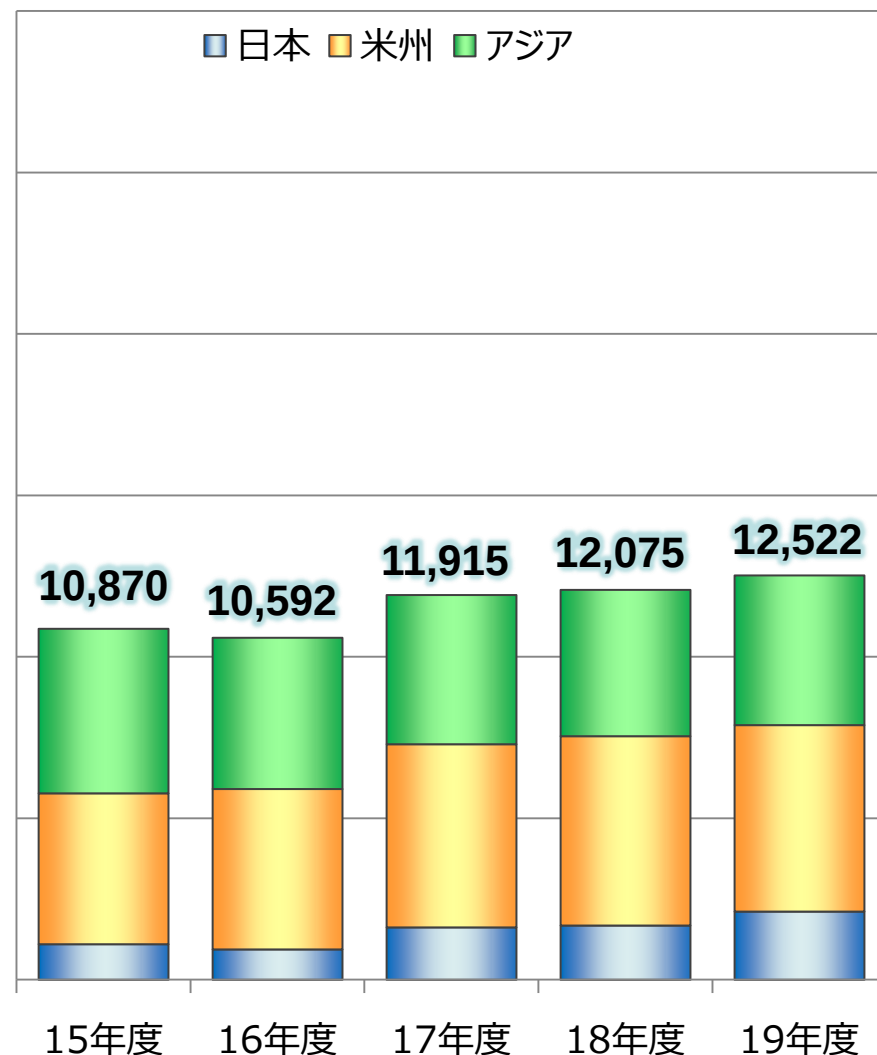
5 拠点の有形固定資産の減損損失計上により、有形固定資産が減少するとともに利益剰余金が減少

地域別設備投資

単位：百万円



地域別減価償却費



I . 2019年度業績

II . 2020年度業績予想について

III . 新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

IV . 最近の状況

V . 株主還元

●2020年度業績予想の公表について

世界的な新型コロナウイルス感染症鎮静化の目処が立っておらず、各国政府の要請や得意先の稼動状況等が不透明であることから、現時点で合理的な算出が困難な状況であり、2020年度の業績予想及び配当予想については、「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

I . 2019年度業績

II . 2020年度業績予想について

III . 新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

IV . 最近の状況

V . 株主還元

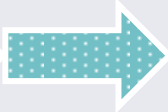
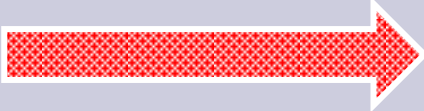
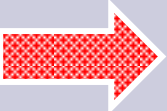
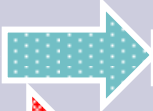
従業員ならびに関係者の「健康と安全」に最大限配慮し、
手洗い・咳エチケットの徹底・こまめな換気や在宅勤務の拡大に
加え、得意先の稼働状況に合わせた一斉休業の実施等により
感染予防対策に取り組んでおります。

国内外における緊急事態宣言などの制限措置に伴う対応

本社横浜地区	・原則在宅勤務 ・一斉休業の実施、出張や会議など制限
本社栃木地区 (グローバルテクニカルセンター)	・在宅と出社の交代勤務制 ・一斉休業の実施、出張や会議など制限
国内・海外拠点	・各国の政府・自治体からの指示に従い、 また得意先の稼働状況に対応した生産活動を実施

主な生産拠点(国)における稼働状況

YOROZU

拠点	稼働状況					当社操業体制
	2月	3月	4月	5月	6月	
日本						3月下旬より 得意先の状況に合わせて、休業またはライン縮小操業
米国						3月23日～5月10日 休業 その後得意先の状況に応じた対応
メキシコ						3月30日～5月31日 休業 その後得意先の状況に応じた対応予定
タイ						4月上旬より 得意先の状況に合わせて、休業またはライン縮小操業
中国						
広州						広州2月5～16日休業、武漢2月5～3月10日休業 現時点通常稼働
武漢						



休業



休業または一部操業



通常操業

業績回復に対する取り組み



- ✓ 役員の報酬カットを当面の間継続
- ✓ 固定費の「徹底した削減」や「変動費化」などへの取り組み
- ✓ 2019年度実施の「緊急収益改善活動」を継続、聖域なき経費の削減取り組み

I. 2019年度業績

II. 2020年度業績予想について

III. 新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

IV. 最近の状況

V. 株主還元

グローバルSUV車の立上り（2020年以降）



- ・日本・米国・中国で順次立ち上がるグローバルSUV車の準備を推進
- ・年間の生産台数30万台程度を計画

従来の地域軸

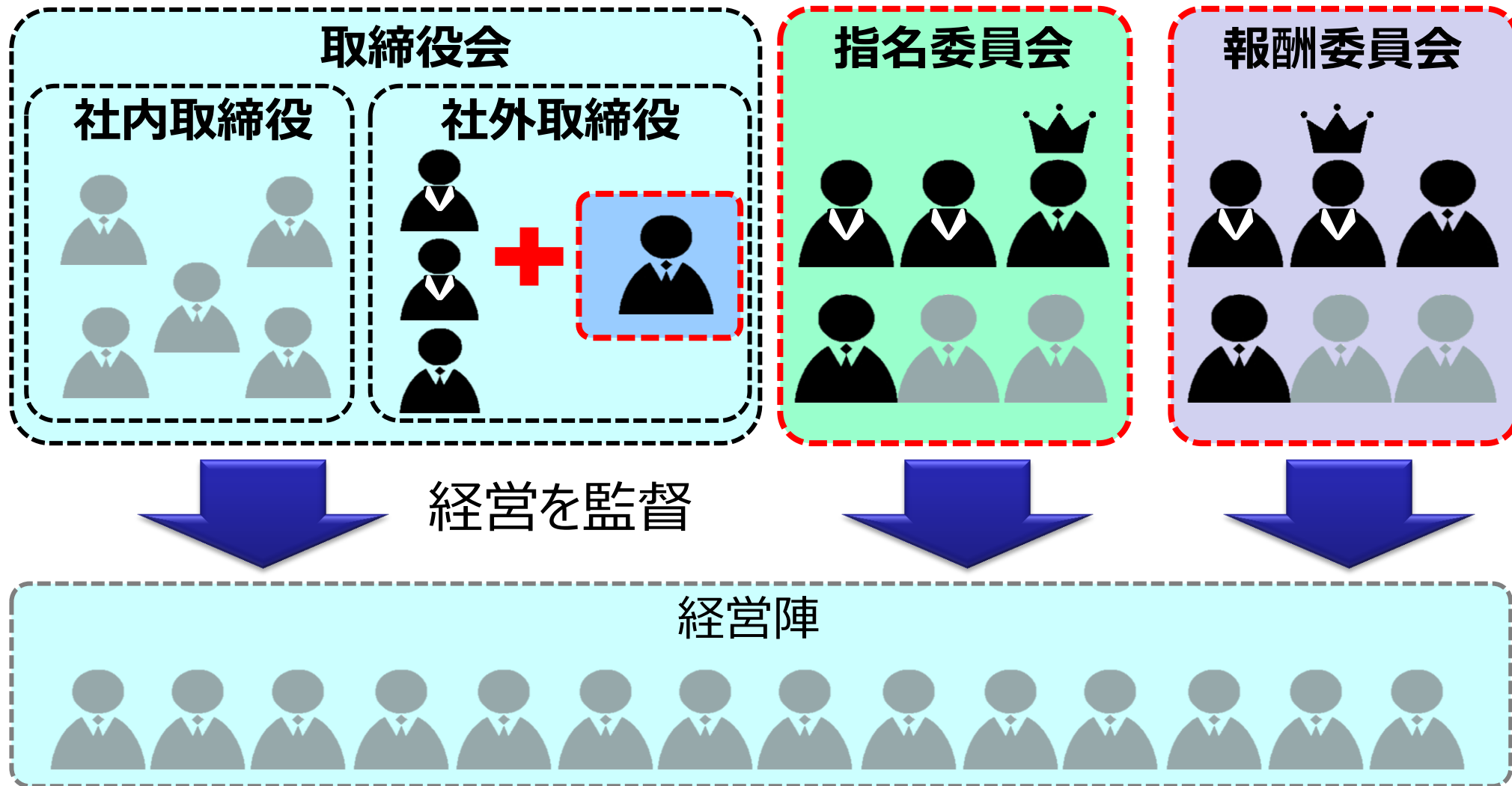
	日本	米州	アジア
30ｽ"	●	-	-
30ｽ"栃木	●	-	-
30ｽ"大分	●	-	-
30ｽ"愛知	●	-	-
庄内30ｽ"	●	-	-
30ｽ"エンジニアリング	●	-	-
30ｽ"サービス	●	-	-
YA・YAT・YAA・YANA	-	●	-
YMEX・YAGM	-	●	-
YAB	-	●	-
G-YBM・W-YBM	-	-	●
YTC・YOAT・YEST	-	-	●
YJAT	-	-	●
YAI	-	-	●



機能軸グループ

	ものづくり機能グループ	営業・管理機能グループ	財務・プロジェクトマネジメント機能グループ	経営企画機能	内部監査・環境経営室
YPW統括部	●	-	-	-	-
経営企画室	-	-	-	●	-
内部監査・環境経営室	-	-	-	-	●
人事部	-	●	-	-	-
総務部	-	●	-	-	-
財務部	-	-	●	-	-
情報システム部	-	●	-	-	-
品質保証部	●	-	-	-	-
研究開発部	●	-	-	-	-
開発部	●	-	-	-	-
生産技術部	●	-	-	-	-
生産機器外販部	-	-	-	-	-
第1・2営業部	-	●	-	-	-
調達部	●	-	-	-	-
生産管理部	●	-	-	-	-
プロジェクト管理部	-	-	●	-	-

従来の「3つの地域軸」+ 機能軸の横断的組織として「3つの機能軸グループ」



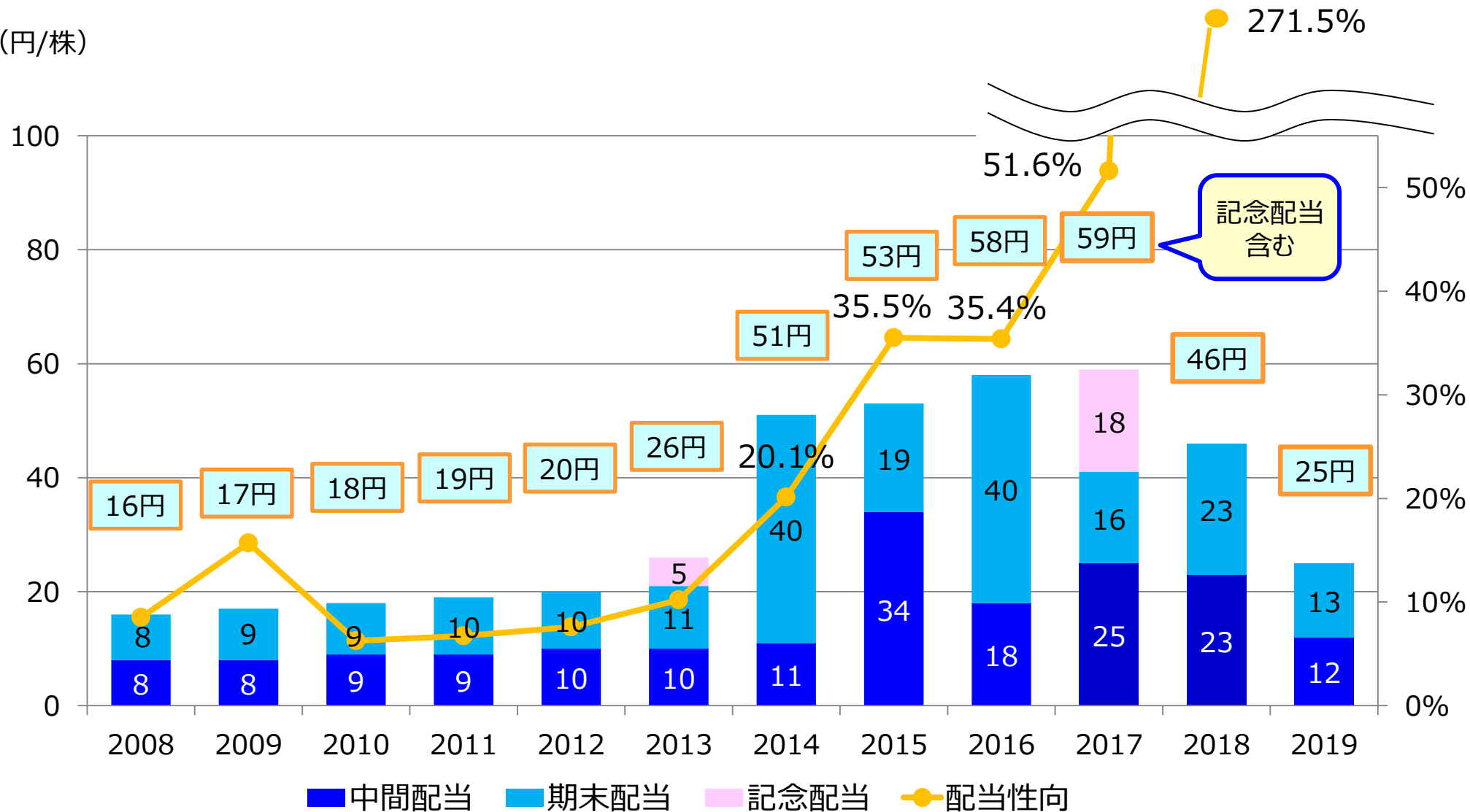
自動車業界に長年携わるとともに、グローバルな企業の経営者としての豊富な経験と幅広い見識を持つ人物を社外取締役として選任し、コーポレートガバナンス体制の一層の強化を図る

- I. 2019年度業績
- II. 2020年度業績予想について
- III. 新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み
- IV. 最近の状況
- V. 株主還元**

財務戦略：株主還元策の拡充

YOROZU

(円/株)



2019年度期末配当は期初「公表」どおり実施

2019年度 **YOROZU** 決算説明会
ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページアドレス

<http://www.yorozu-corp.co.jp>

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 取締役副社長執行役員
担 当：(株)ヨロズ 財務部 経理グループ 主担

佐草 彰
高橋 剛健

T E L 045-543-6802 F A X 045-543-4915